



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第17回例会(11月6日)
平成27年11月13日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例 会 場 同上 TEL(651)1111(代)
例 会 日 毎週金曜日12時30分～

会 長 岩野 法光
幹 事 吉江 信博
会 報 福田 荘介
クラブ事務局 TEL(653)5682
FAX(653)5622

Be a gift to the world. '世界へのプレゼントになるう'…………… K. R. ラビンドラン



パスト会長卓話シリーズ 第三弾

「交流人口の増加で地域を元気に」

(株)大観 代表取締役会長

佐藤 義正 君

1991-1992年度 会長: 佐藤 義正
副会長: 河野 逸平
幹 事: 村井 栄輔

RIテーマ Look beyond yourself
(自分を越えた眼を)

申すまでもなく日本は、世界でもまれなスピードで人口減少社会に突入しているわけで、「訪日観光客の増大」はどうしても進めていかなければならない政策です。

岩手県は47都道府県の中でも7番目のスピードで人口減少が進んでいるわけで、その対策としても観光客を数多く呼び込んで、もっと緩やかに着地するような工夫をしていかなければならないと思います。

(以下、配布されたレジメを参考に説明)

山梨県富士吉田市の新倉山浅間公園という場所です。ここは外国人にとっても受けているスポットです。

桜、富士山、五重塔が一緒に見られる場所で、欧米とアジアを問わず喜ばれているのですが、特にタイのお客さんの一番人気です。

JNTO について

今日の卓話の資料で JNTO の資料を数多く使っていますが、JNTO とは独立行政法人日本観光振興機構のことで、簡単に日本政府観光局と言っていますが、1964年、51年ほど前に旧運輸省の外郭団体として発足したもので、資本金は9億5,800万円、職員数93名、本部は有楽町駅前の交通会館10階にあります。海外事務所はソウル、北京、上海、香港、バンコク、シンガポール、ジャカルタ、シドニー、ロンドン、パリ、フランクフルト、ニューヨーク、ロサンゼルス、トロントの14か所にあります。

業務は旅行・観光のシンクタンク・マーケティング・調査が主な仕事です。

現在の理事長は松山良一さんという人で、三菱商事のアメリカ法人の社長をやった人です。花巻の上田東一さんの上司だった関係もあり、昨年秋には花巻市主催の観光の講演会にも来て、話しております。

JNTOには顧問会議という機関があり、代々の経団連会長が議長を務めるのですが、私も8年ほどメンバーになっていました。

7月初旬の出来事

本年7月初旬に、鳥取県堺港に超大型豪華客船が横づけになりました。これはアメリカ船籍の船で、全長348メートルで何と日本最大の「飛鳥II」の5倍もあります。

この船は上海から中国人を乗せてやってきたのです。降りてくるわ、降りてくるわ、4,000人の中国人が120台のバスに分乗して、寄港時間8時間の旅を楽しみました。早速向かったのは隣村の日吉津村(人口3,450人)のイオンモールです。薬と紙おむつ、ボールペンなどがあつという間に売り切れ、瞬時に1億円以上の売り上げだったとのこと。その後このクルーズは12月末まで23回の寄港予定とのこと。

一昨年、2013年に初めて訪日外客数が1,000万人を突破しました。世界で27位、アジアで7位となっています。

そして、昨年は1,300万人を突破。今年は

1,900万人を超えそうな勢いです。安倍総理は5年後のオリンピックの時には2,000万人を目指そうと言っていますが、もう間もなく達成されそうな勢いです。

各国の外国人旅行者受入数2005年のランキングです。日本は世界で31位、アジアで6位となっています。この年にビジットジャパンキャンペーンが始まりました。

今年9月の宿泊統計速報値です。外国人は59.5%増の603万人で国内全体の宿泊者数の10.8%を占めています。

9pは8月の外国人出身地別シェアで、10pは出身地別外国人宿泊者数をグラフにしたものです。

11pは世界のブランド力のランキングです。日本の観光ブランド力と訪日外客数世界27位とのギャップを埋めることが大きな課題であります。

12pは観光の意義・重要性を述べています。更にGDPに占める観光の位置を示しています。

13pは2014年に史上最多となった要因を述べています。

14pは要因の一つであるビザの緩和による効果を示しています。

15pではこれも要因の一つ免税制度の拡充を述べています。

16pは2015年以降の旅行収支は年間黒字化が達成されそうだと記述です。

17pは航空便と船舶の交通手段の充実が一層進んでいることを記述しています。

18pはアジア地域の経済成長と旅行市場の拡大が訪日観光の愛風になっているとの記述です。

19pでは東京オリンピック等のメガイベントの開催決定に伴い、国際的な注目度が高まり、訪日観光が急速に伸びている原因となっていることを示しています。

20pは観光立国実現に向けた政府の推進体制について記述しています。

21pから24pまでは地域でのインバウンドの継続的發展について、いくつかの成功事例を示して、例示しています。

25pはI案内所都道府県別設置箇所数の数字を示して、今後これを充実する必要性を述べています。

26pは受け入れ環境整備についてWI-FIと

ATMの充実について述べています。

27pと28pは今までのおさらいです。

29pは都道府県など観光行政に対する課題と期待を記述しています。

30pは旅館に呼び込むための方策について考えているのですが、行ってみたい観光地のイメージでも体験したいことのアンケートでも日本旅館への宿泊はあまり上位に入っていません。

観光客中心の宿泊施設における延べ宿泊者数では依然として福島の影響があり、東北は国内旅行からも日外客からも敬遠されているとの実態を示したグラフです。

観光活性化の住民意欲を都道府県別に分析した結果、1位は岩手県ということになり、住民の皆さんに感謝するとともに、大変喜んでいる次第です。

最後34pに観光競争力日本9位との活字が飛び込んできましたが、もちろんアジアではトップです。我々はこのような評価を更に上にあげるような努力をしていかなければならないと思っています。

訪日客、年間最高を更新 7-9月消費額は初の四半期1兆円超え

日本政府観光局が21日発表した9月の訪日外国人数（推計値）は、前年比46.7%増の161万2,000人だった。1-9月の累計は1,448万人に達し、通年で過去最高だった昨年実績は1341万人）を早くも上回った。

9月はアジア地域を中心に休日が多かったことや中国からクルーズ船が多数寄港したことなどが、訪日外国人数の増加に寄与した。

10月については、中国の国慶節（10月1-7日）などに加え、国内で紅葉シーズンが始めることなどから「引き続き順調な需要増加が期待される」という。

また、観光庁が同日発表した7-9月の訪日外国人の旅行消費額は1兆0,009億円となり、四半期で初めて1兆円を突破した。国別では中国が全体の46.6%を占めた。

日本百貨店協会が10月20日に発表した今年9月の「外国人観光客の売上高・来店動向（速報）」によると、百貨店71店舗で免税手続きが行われた物品の売上総額は138億6,000万円と前年同月の2.8倍になった。

外国人観光客の増加が続いていることに加え、昨年10月から化粧品や食料品などに免税対象が拡大された効果が大きい。

従来はハンドバックや衣料品、家電製品などを1人1日1店舗当たり1万円超購入したものが免税対象だったが、これに加えて、化粧品や、食料品、菓子類、果物、酒などを1人1日1店舗当たり5,000円超購入したのも免税対象となった。

百貨店では特に新たに免税対象になった化粧品の人気が高まり、中国や香港、台湾からの観光客による「爆買い」のターゲットになっている。

71店舗の9月の免税売り上げ138億6,000万円のうち従来免税対象だった物品は107億7,000万円だった。つまり、免税範囲の拡大によって1ヵ月だけでも30億円以上の増収要因になったわけだ。

昨年9月に免税手続きを行った人は5万6,000人あまりだったが、範囲が拡大された10月には11万6,000人となった。化粧品や食料品が対象になったことで、免税で買い物をする客が急増したことが分かる。

食料品などはブランド品などに比べて低価格のため、免税手続きを行った客ひとり当たりの単価は8万4,700円から7万5,000円に低下したが、全体の免税売り上げは9月の47億8,700万円から10月の86億7,000万円に大幅に増えた。

免税範囲の拡大が、従来の免税品の購入拡大

などにもつながる相乗効果があったことを伺わせる。

その後、今年に入ってから訪日外国人客自体が増加し続けた効果もあり、百貨店の免税売り上げはうなぎ上りだった。年末商戦の12月には126億6,000万円を記録、客単価も8万9,000円に達した。

春節の2月には153億6,000万円となったが、桜のシーズンで観光客が一気に増えた4月には197億5,000万円と過去最高を記録した。免税手続きを行った顧客の数も24万1,000人と最高になった。前の年の4月は7万7,700人だったので、一気に3倍になったわけだ。

東京の銀座や新宿の百貨店の売り場に中国人などの外国人が溢れ、「爆買い」という言葉も一気に広がった。

ついに「爆買い」がピークアウト!?

～中国の景気減退と、二つの数字が示す、明るくない未来～

ピーク時の百貨店売り上げは200億円だが…

今ひとつ元気がない日本の消費を下支えしてきた、外国人観光客による「爆買い」はいつまで続くのだろうか。

上海株式相場の大幅な下落の影響で、中国人観光客の財布のヒモが締まることはないのか。中国の国内総生産（GDP）が7%を割った影響は出ないのか。

米山奨学生研修会(研修旅行)

日 時：2015年10月18日（日）

場 所：公益財団法人 米山梅吉記念館

静岡県駿東郡長泉町 JR 東海道新幹線 三島駅よりタクシーで10分

参加者：第2520地区米山記念奨学会委員、地区奨学生、地区学友会会員 17名

研修会プログラム

- (1) 米山梅吉記念館に到着後、米山梅吉翁のお墓参り。その後、ガイドの案内で館内の見学及び研修
- (2) 第2620地区 ガバナー：野口英一様の歓迎挨拶
- (3) 第2620地区、第2520地区 各々の米山記念奨学会委員長及び米山学友会会長の挨拶
- (4) 記念写真撮影
- (5) 米山梅吉記念館とバナー交換
- (6) 第2620地区 米山学友会主催による交流会。約1時間和やかに交流し、帰途についた

〈地区米山記念奨学会 委員 米内 正〉

例会報告

第17回例会 平成27年11月6日(金)

- 12時30分 開会点鐘
- ・司会 岩野法光会長
 - ・国歌 君が代
 - ・ソング 奉仕の理想
 - ・会長報告 岩野法光会長
 - ・新入会員紹介 乳井隆明会員
(株)エアテック 岩手支社長
紹介者：小川 惇会員
 - ・皆出席バッチ 熊谷祐三君 (30年)・福田荘介君 (30年)・長澤茂君 (11年)
 - ・入会祝 福田荘介・熊谷祐三・西田直貴・佐藤仁志君。
 - ・結婚祝 西田直貴・熊谷隆司・佐藤義正・小川 惇・斎藤和好・近

藤 駿・平井 滋君。
・幹事報告 吉江信博幹事

【他クラブ例会変更のお知らせ】

- 盛岡西R.C.=11月19日(木)は、盛岡中央R.C.・盛岡滝ノ沢R.C.との合同例会のため17日(火)18:15~「ベルヴィ盛岡」。
- 盛岡東R.C.=11月16日(月)は、通常夜例会18:30~「すべいん倶楽部」会場変更。11月30日(月)は、秋の懇親会のため29日(日)。
- 盛岡中央R.C.=11月17日(火)は、盛岡西R.C.・盛岡滝ノ沢R.C.との合同例会のため17日(火)18:15~「ベルヴィ盛岡」。
- 盛岡西北R.C.=11月25日(水)は、タイ・スイウオンR.C.例会出席のため24日(火)
- 盛岡滝ノ沢R.C.=11月19日(木)

は、盛岡西R.C.・盛岡滝ノ沢R.C.との合同例会のため17日(火)18:15~「ベルヴィ盛岡」。

【ニコニコBOX】

◆佐藤善通君…11月3日に約15年ぶりのテニスで左ふくらはぎ肉離れになってしまいました。高校・大学でテニスをしていましたので軽いラリーでやってしまうとは全くの過信でした。自分の現在の年齢を実感できたことを前向きに考え、不本意ながらニコニコします。

●メークアップ
盛岡北R.C.=福田・熊谷(祐)・佐藤(義)・丸萬原君。盛岡東R.C.=川村(登)・佐藤(仁)・吉田(幸)君。盛岡西北R.C.=田口君。クラブ委員会=掛上・吉田(育)君。

出席報告 ■ 会員数 /72名 ■ 出席数 /41名 ■ 出席率 /58.57% ■ 前々回 /80.3%

- プログラムの
お知らせ
- ・11月13日(金) 新入会員卓話 掛上智章君
「今後のインフレと米国の運用歴史について」
 - 20日(金) ゲスト卓話 小森武義様 (いきいき岩手結婚サポートセンターセンター長)
「少子化の現場報告」
 - 27日(金) パスト会長卓話 川村 登会長
 - ・12月4日(金) パスト会長卓話 平井 滋会長

●本号編集担当 / 福田 荘介
●次号編集担当 / 金沢 滋